

(A)

ワークショップおよび国際委員会等参加報告書

2014年 4月 10日

報告者	氏名：中坪孝之
	所属：広島大学大学院生物圏科学研究科

会合名	IASC Terrestrial Working Group Meeting
会合目的	Terrestrial WG が関係する活動の報告と今後の活動計画の立案
主催団体 (共催の場合並記)	International Arctic Science Committee (IASC)
会合年月日	2014年 4月 5日 ~ 月 日
会合場所	会場名称：Univ. Helsinki, Kumpula Campus 国名 (都市名)：Finland (Helsinki)
出席者 (日本人は所属とともに分かる範囲で記載)	Ingibjörg Svala Jónsdóttir (Iceland, Chair), Warwick F. Vincent (Canada, Vice Chair), Yoo Kyung Lee (Korea, Executive Officer), Donald. A (Skip) Walker (USA), Phil Wookey (UK), Atsuko Sugimoto (Hokkaido Univ.), Takayuki Nakatsubo (Hiroshima Univ.) ほか
会合開催の経緯	2013年4月に Krakow (Poland) で行われた会議に続くワーキンググループの全体会合
主要な議論と決定事項	終了した活動についての報告、Terrestrial WG に関連した IASC の活動のレビュー、IASC 以外の関連する活動、今後の活動、2013年の収支決算、2014/2015年の予算等
本会合の今後と関連会合	ASSW 2015 は2013年4月23-30日に富山で、ASSW 2016はアラスカ Fairbanks で開催される
会合における報告者の役割、発表内容	日本代表メンバーとしての参加。意見交換、情報収集を行うとともに、予算等の決議に加わった。
報告者ないし日本のコミュニティ・JCARが留意すべき点、およびアクションを起こすべき事項	報告された研究計画の多くが ICARP IIIを意識したものであったが、どのようなプロセスを経て ICARP IIIの課題に採択されるのかについての情報が欠如している。この点についての情報収集が急務と思われる。
備考 (上記以外の事項)	
添付資料 (○をつける)	<ul style="list-style-type: none">・アジェンダ・主な参加者一覧・会合の配布・発表資料 (可能な範囲)・会合主催者作成の報告書 (後日提出可)・その他 ()